

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：自治医科大学附属病院（栃木県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。															
<p>・横須賀市立総合医療センター：医療センターが所在する横須賀・三浦保健医療圏は人口10万人あたりの医師総数が全国を下回っている地域である。また、当該機関は自治医大卒業生が運営する関連病院であり、地域医療支援病院や地域周産期母子医療センターとして地域に根付いた急性医療の提供をしている。医師不足である地域において実験経験豊富な指導医のもと当院では経験のできないcommon diseaseの研修を行えるため。</p> <p>・さいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センター：当院での研修は悪性腫瘍を対象とした高度先進医療が中心で2次医療を学ぶ機会が不足している。一方でさいたま赤十字病院や附属さいたま医療センターは第5種地域に所在しているが、栃木県内（第3種地域）とは異なる地域における患者層の違いによる症例の経験や悪性の外科疾患だけでなく当院において経験のできない外科的common diseaseの研修を行えるため。</p> <p>・伊東市民病院：伊東市民病院が所在する熱海伊東医療圏は人口10万人あたりの医師数が全国を下回っている地域である。当該施設は自治医大卒業生が運営する関連病院であり、地域医療に精通した指導医のもと当院では経験のできないcommon diseaseの研修を行えるため。</p> <p>・福島県立南会津病院：過疎地域自立促進特別措置法（昭和40年法律第64号）第2条第1項に規定する地域【過疎市町村】であり、医師不足であるへき地等地域医療において実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため当該機関を地域医療研修の協力病院に追加する。</p> <p>・かみいち総合病院：かみいち総合病院が所在する富山医療圏は高齢化率33%と高く、従来より「地域包括医療」を実践しており、地域密着型の地域医療が行えることから当該機関を地域医療研修の協力病院に追加する。</p> <p>・一関市国民健康保険藤沢病院：過疎地域自立促進特別措置法（昭和40年法律第64号）第33条第1項に規定する地域【過疎地域としてみなされる市町村】であり、医師不足であるへき地等地域医療において実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・哲西町診療所：過疎地域自立促進特別措置法（昭和40年法律第64号）第2条第1項に規定する地域【過疎市町村】であり、医師不足であるへき地等地域医療において実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・西予市立野村診療所：過疎地域自立促進特別措置法（昭和40年法律第64号）第2条第1項に規定する地域【過疎市町村】であり、医師不足であるへき地等地域医療において実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・西吾妻福祉病院：自治医大卒業生が運営するへき地医療拠点病院であり、医師不足であるへき地等地域医療において「地域包括医療」を実践している。実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・南三陸病院：過疎地域自立促進特別措置法（昭和40年法律第64号）第2条第1項に規定する地域【過疎市町村】であり、医師不足であるへき地等地域医療において実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・斜里町国民健康保険病院：周囲を過疎に囲まれた辺地に立地している。当院の医師が定期的に診療に行っており緊密な連携が図られており、実験経験豊富な上級医のもとで良質な地域医療の研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・磐梯町保健医療センター：過疎地域自立促進特別措置法（昭和40年法律第64号）第2条第1項に規定する地域【過疎市町村】であり、医師不足であるへき地等地域医療において実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・あがの市民病院：自治医大卒業生が運営する病院であり、地域の中核病院として地域医療に特化した研修を実践している。実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・南魚沼市民病院：南魚沼市民病院が所在する魚沼医療圏は高齢化率33%と高く、地域の中核病院として地域医療に特化した研修を実践している。実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p> <p>・女川町地域医療センター：自治医大卒業生が運営する町で唯一の医療機関である。町の高齢化率は38%と高く地域医療ニーズに特化した研修を実施している。実験経験豊富な指導医のもとに研鑽を積むことが可能であるため。</p>															

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、

「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は

「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」

欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。